

シンポジウム

深浦円覚寺をめぐる仏法とその伝播——津軽の修験道と——

2026年
9月6日 日
10:00~16:10

会場・オンライン
ハイブリッド開催
// 要事前申込 //

プログラム

- | | |
|-------------|---|
| 10:00~10:30 | 開会挨拶・趣旨説明
● 藤井雅子(日本女子大学教授) |
| 10:30~11:00 | 奥州深浦円覚寺の歴史と日本海交易
● 海浦由羽子(春光山円覚寺・深浦町教育委員) |
| 11:00~12:00 | 修験道の「聖教」—深浦円覚寺と京都醍醐寺—
● 永村眞(日本女子大学名誉教授) |
| 12:00~13:00 | 休憩 |
| 13:00~13:40 | 津軽の修験道とその展開
● 関口真規子(埼玉県立文書館 学芸主幹) |
| 13:40~14:10 | 円覚寺薬師堂落書について
● 武井紀子(日本大学教授) |
| 14:20~14:50 | 円覚寺薬師堂落書から見た信仰圏の拡大
● 福井敏隆(元青森県文化財保護審議会委員) |
| 14:50~15:20 | 中世末観音信仰及び日本海海運の近世的展開
—円覚寺の落書・奉納物を素材として—
● 瀧本壽史(元弘前大学教授) |
| 15:30~16:10 | 質疑応答 |

会場 ①会場参加・深浦町役場1階ホール
(青森県西津軽郡深浦町大字深浦字苗代沢84-2)

②オンライン(Zoom)配信

申込

要事前申込

7月10日から9月3日まで

二次元バーコードからお申込みください→



参加費 無料

問い合わせ先

fujii.kaken@gmail.com

日本女子大学文学部歴史文化学科 藤井雅子

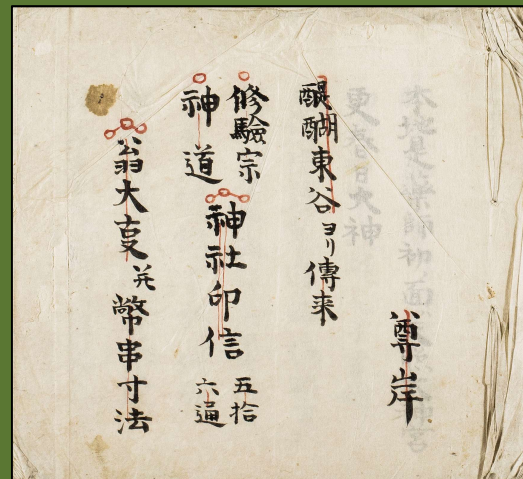
■主催 科学研究費助成事業・基盤研究(B)「日本海交易と宗教ネットワークから見た歴史的幹線の再発見」(課題番号 23K25264、研究代表者 日本女子大学文学部教授 藤井雅子、令和5~8年度) ■共催 春光山円覚寺・青森県深浦町



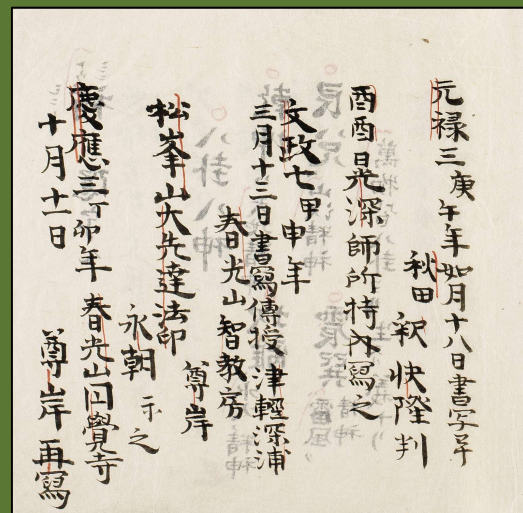
本シンポジウムは、中世から明治期における日本海交易の幹線を通じて、港湾に生活し活動する人々と寺院や宗教との関わりを解明するために、真言密教・修験道を伝持する奥州深浦円覚寺への仏法の伝播を追求することを目的とします。

円覚寺には真言密教や修験道に関する中世から近代における多くの宝物や建造物があり、それらの中には日本海交易に関わる史料も数多く残されています。

「修験宗神道神社印信」



(表紙)



(奥書部分)



会場アクセス

深浦町までの行き方



その他の行き方については、
深浦町観光公式サイトからご確認ください。



JR深浦駅からの行き方

シンポジウム会場

●深浦町役場

西津軽郡深浦町大字深浦字苗代沢84-2
JR五能線深浦駅より徒歩約7分

●春光山円覚寺

西津軽郡深浦町大字深浦字浜町275
JR五能線深浦駅より徒歩約20分